

校長室だより



令和3年10月1日

No.18

何だか胸が痛い…咳が出る…コロナか?…なんて言っていたら、家族から「アレルギーの薬、飲んでる?」…ああ、そうか季節の変わり目の喘息か…そんな時期になったのを忘れていました。で、薬を飲んだら翌朝はぴたっと止まっていました。やれやれ…。

夏休み前からお伝えしていた昇降口前広場のケヤキの木と先週末、ついにお別れということになり、業者さんにきれいに伐採していただきました。月曜日の朝には、私も含め職員一同、ああなくなっちゃった…と、あつたはずの大きな木の姿が見えなくなって一瞬呆然とした感じでした。子どもたちも「あれ?」と空を見上げたり、切り株の周りのベンチに座ったりして、いつもと違う様子を感じているようでした。驚いたのは空が急に大きく広がったように見えることです。学校創立当時もこんな様子だったのかもしれませんが、それだけあのケヤキの木は大きかったんですね。長い間、この広場の真ん中で子どもたちや学校を見守り、支えてくれていたその大きさをあらためて感じます。切り株の直径は60Cmほどありました。わかっていたこととはいえ、何だかとても寂しい思いがするのは私だけではないと思います。じゃあ、切らなきゃよかったのに…ですが、そうすると今度は台風とか大雨とかのときにどうなるか…なので、一区切りさせていただきました。そんな中、印象的だったのは、何人かの子どもたちが切り株を見つけて、その上に立ったことです。子どもたちは高いところでポーズをとって見たかったのかもしれませんが、私にはまるでケヤキの木が「わたしのかわりにあなたたちが大きくなりなさい」と子どもたちに未来を託したかのような、そんな風に見えました。大きくなれ、本郷の子どもたち。



きれいになくなりました



広がった青空



切り株です

そうこうしているうちに、用務員さんがこの切り株を使って、なんと素敵なテーブルを作ってくださいました。今度はこのテーブルの周りに子どもたちが集まってくれることでしょう。本郷の新しいシンボルにもなりそうです。ケヤキさん、よかったですね。

なんと!テーブル!



※10月4日より通常の下校時間での授業となります。夏休み明けからご迷惑やご心配をおかけして参りましたが、校内で感染拡大等なく過ごせたのはご家庭のご協力のおかげです。心より感謝申し上げますとともに今後ともよろしく願いいたします。